

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」で重点的に取り組む課題に応じた目標等

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	
423211_東彼杵町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない生徒の増加が懸念され、学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通の課題となっている。	放課後等において、学習支援教室を開設する。学習支援員には、大学生や教員OB等の地域住民の協力により、5名配置し、週2回程度の学習支援教室を実施する。	学校以外での学習習慣が身につくとともに、学校との連携により生徒の個性に応じた学習支援を行うことにより、学習への意欲と基礎学力を向上させ、教員の学習指導の負担軽減を図る。	学力調査偏差値(数学) (町学力調査 12月実施)	49		50	49	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援員が当初の想定を上回り13名配置できたことは、授業に遅れがちな生徒にとっては、時間をかけてゆっくりアドバイスを受けながら学習を進めていくことができ、基礎学力の向上のためによりよい環境を提供することができた。 ・生徒に年齢的に近い、大学生サポーターとのコミュニケーションを通じて、目標意識が高まり教室への参加意欲の向上が見られた。 ・一方で対象教科以外の学習をする生徒が散見され、教科外の指導という面でサポーターの関り方が難しいところがあった。 ・取組初年度ということもあり、能率よく生徒が学習に取り組める環境づくりや学習支援員による学習アドバイスの要領など工夫を重ねることが必要。 ・次年度は、学力テスト等の学校行事予定を踏まえた教室の年間スケジュール調整や自主学習教材の充実などの改善を行いたい。